



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

会社名 富士興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勇一
(コード番号 5009 東証一部)
問合せ先 取締役執行役員経理部長 松崎 博文
(TEL. 03-6859-2050)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日公表の第 2 四半期連結累計期間の実績値において下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,500	100	150	300	34.33
実績値 (B)	21,226	35	87	244	27.92
増減額 (B-A)	△2,273	△64	△62	△55	
増減率 (%)	△9.7	△64.1	△41.8	△18.7	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	17,438	130	181	114	13.13

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきましては、当社グループのコア事業である石油事業において、業界再編を進める石油元売各社が、新たに打ち出した価格政策などへの対応に取り組んだものの、上昇した製品仕入コストの価格転嫁などに苦戦を強いられ、損益面では厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は、石油事業の販売数量減少の影響などから計画を下回りました。また、損益面でも、製品仕入コストの価格転嫁の遅れなどの影響により計画を下回ることとなりました。

通期の業績予想につきましては、当社グループの事業は季節変動が大きく、売上高・利益ともに通期に対する第 1・2 四半期の占める割合が低いことから、前回公表値（平成 29 年 5 月 15 日公表）から修正は行っておりません。

(注) 業績の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上